



吉本ひとみ 奈良県出身。5歳からピアノ基礎を学び、学生時代に関西のライブハウスで活動を開始しJポップを歌う。20代後半にジャズに目覚め、英語圏音楽・ジャズ理論を学び始める。15年前に拠点を横浜に移し、ジャズやボサノバ、ワールドポップまで幅広い活動を開始。2009年、ファーストアルバム「The Good Life」をリリース。そして今年5月、待望のセカンドアルバム「MY ROMANCE」を発売し、全国ツアーを敢行した。
ホームページアドレス：http://hitomi-yoshimoto.com

撮影◎大西 基 協力◎銀座「SWING」

ジャズシンガー、それが日本人女性だった場合、みなさんはどんな声を想像するだろう。きつとほとんどの人がハスキーボイスだったり、しやがれた声、パンチの効いた声などを思い浮かべるのでは。ところが今回紹介するジャズシンガー・吉本ひとみの声は、そのどれにも当てはまらない。まるでガラスのように透き通った声なのだ。「ジャズっぽくない声ですよね」と本人は笑うが、歌声を聴いた時に「あっ、これはひとみさんだな」とわかってもらえるのは大きな武器であり特徴だ。

そもそも10代の時に浜田麻里の歌うヘヴィメタルに衝撃を受け、20代後半にジャズに目覚めたという彼女の歌唱法は、音大出身シンガーとは違って、生活の中で大好きな音楽を樂しむうちにいつの間にか出来上がっていたものなのだろう。

そんな彼女のポリシーは、お客さまと触れ合える場所で、生で聴いていただくこと。2500人いるというフェイスブック友達にはジャズを知らない若い人も多く、全国ツアーという旅をしながら町の小さなジャズクラブでそんな人たちにリアルに会って、生のジャズを楽しんでもらおうとしているようだ。

まずはハイレゾ対応96kHz/24bitレコーディングの最新アルバム『MY ROMANCE』でその歌声に触れて、彼女が近くの町に来た時には足を運んで生のジャズを体感してみたいかがだろう。

ジャズは敷居が高いと思っていらっしゃる方に身近な場所でも楽しめることを伝えたい

透き通る歌声が魅力のジャズシンガー・吉本ひとみがニューアルバムをリリース。録音にもこだわったという本作とライブへの想いについて、ライブ直前の銀座のジャズクラブ「SWING」で語ってもらった。

アーティストの想い

銀座「SWING」

東京都中央区銀座西2-2 銀座インズ2-2F
TEL：03-3563-3757
http://ginzaswing.jp



創業39周年を迎える銀座の老舗ジャズクラブ。料理やお酒といっしょに、生のジャズライブが楽しめる。



15周年記念ライブ決定!

2014年11月21日(金)
六本木サテンドール

問合せ/TEL：03-3401-3080



ニューアルバム
「MY ROMANCE」好評発売中
2500円(税別)
(WSP-14051/Whisper)

田口徳治(ギター)、河原秀夫(ベース)、maiko(ヴァイオリン)の弦楽器の名手3人、そしてドラムに滝幸一郎を迎えてレコーディングされたセカンドアルバム。湘南の名曲「Ellie My Love」を含む全11曲を収録。